

TOPIC

医療介入を必要とするおそれのある被ばく・汚染を伴う事案発生時の東京電力ホールディングス株式会社との連携協力に関する協定締結



廃炉作業全体の安全な推進に寄与へ

廃炉作業に従事される方を健康面から支え、我が国の復興・発展に被ばく医療面から寄与すべく、円滑な連携を目指し協定締結へ

令和6年7月4日(木)、公立大学法人福島県立医科大学と東京電力ホールディングス株式会社(以下、東京電力HD)は、福島県地域防災計画原子力災害対策編及び福島県原子力災害医療行動計画を実効性のあるものにするために、「福島第一原子力発電所の構内において医療介入を必要とするおそれのある放射線業務従事者の被ばく・汚染事象が発生した場合の連携協力」に関して協定書を締結しました。

本医療連携協定を締結することにより、両者が連携協力を要する状況において、必要な傷

病者情報の収集、傷病者の搬送と受け入れなどが、より適切・円滑に行えるようになります。

我が国の復興・発展に被ばく医療面から寄与

このことにより、廃炉作業全体の安全な推進はもちろんのこと、我が国の復興・発展に被ばく医療面から寄与することとなります。

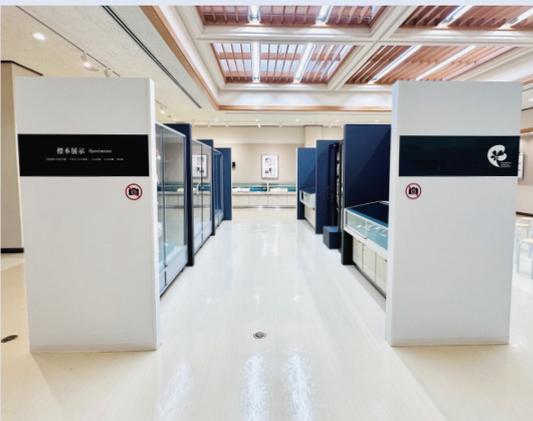
協定式では、東京電力HD小早川智明代表執行役社長から「医療介入を必要とするおそれのある被ばく・汚染事案に対して、これまで

以上に円滑な連携対応が実施できるようになる」と挨拶がありました。

廃炉作業に従事される方を健康面から支える

竹之下誠一理事長兼学長は「廃炉作業に従事される方を健康面から支え、ひいては廃炉作業全体の安全な推進に寄与することになり、他の地域の原子力事業所と原子力災害医療に携わる医療機関にとっても先行モデルとなる」と協定締結の意義を述べました。

REPORT



本学附属学術情報センター展示館リニューアルオープン

令和6年7月16日(火)、福島県立医科大学附属学術情報センター展示館が、リニューアルオープンしました。

展示館は、本学の研究・教育を通じて収集・蓄積された標本類、考古資料などの貴重な学術資料を広く公開します。

今回新たに本学の歴史、概要、震災時の対応、教育・研究・診療に関する最新情報を展示することで、来館者が本学の取り組みに触れられる展示館を目指します。

学内外と連携した企画展を

さらに、地域の歴史や文化・芸術に関する展示や、学内外の様々な機関と連携した企画展を通じて、教育・研究および地域社会への貢献に努めてまいります。

詳細はこちらから ▶▶▶



光が丘鍼灸院開院しました!

令和6年8月1日(木)、福島県立医科大学会津医療センター附属研究所漢方医学研究室鍼灸部は、本学敷地内に光が丘鍼灸院(通称)を開院しました。

開院に先立ち、7月20日(土)に、光が丘鍼灸院にて内覧会を開催し学内外約50名が参加しました。

冒頭の挨拶で、竹之下誠一理事長兼学長が「附属病院・近隣地域の患者さんの医療に対する安心感やQOL向上に貢献したい」と述べました。

さらに、大田雅嗣会津医療センター長から「新たな鍼灸院の開設を機会に、今後もEBMに基づいた治療の展開を期待している」と、横山斉会津医療センター病院院長が「県立医科大学のキャンパス内に鍼灸院を開設し、附属病院の高度専門医療をバックアップすることで、より一層医大病院の医療の質が高まることを期待している」と話しました。

また、会津医療センター附属研究所漢方医学研究室鈴木雅雄教授の講演では、「附属病院で高度な医療が展開されている中で、現代

西洋医学と鍼灸医学の良い部分を合わせるにより統合医療としての新しいパラダイムを創造する。既にある漢方内科と鍼灸との連携による漢方両輪の実現により、患者さんのメリットとなり得る診療を目指す」と決意を述べました。

お問い合わせ/ご予約

固定電話: 024-563-7833

予約専用ダイヤル: 080-9630-8181

電話受付時間: 月~金 9:00~18:45



International Exchange NEWS

医学部留学生交流発表会開催

令和6年7月11日(木)に本学災害医学・医療産業棟7階第2会議室にて、「医学部留学生交流発表会」を開催しました。

本交流会は、プログラムに参加した学生がそれぞれの学びを発表するとともに、海外からの留学生と本学学生の交流を目的に開催されております。

本年度は総勢41名の学生と教職員の参加者があり、当日の進行、発表及び質疑応答は全

て英語で行いました。

マウントサイナイ医科大学に留学した医学部4年生の柳澤知弥さんは、診療の様子を見学し、実際に患者さんと話す機会もあったことなどを発表したほか、退院を求める入院患者と医療者との間で裁判が行われることもあると紹介しました。

また、国立台湾大学より本学に留学中のLiu,Po-Hanさんは、複数の診療科で様々な病



気について学んだことや福島で原子力災害と復興の過程を学んだことを挙げ、とても貴重な経験になったと話しました。

NEWS ふくしま看護モデル検討部会 研修会開催



令和6年7月24日(木)に本学において、看護学部ふくしま看護モデル検討部会主催の研修会を開催しました。

今回は、本学部小児・精神看護学部門の助教から精神科訪問看護ステーション「リンク」を立ち上げた吾妻陽子様をお招きして、事業所立ち上げまでの様々な苦労や今日までの着実

な歩みについてお話をいただきました。

参加者からは、病状の観察、服薬管理、生活習慣の改善支援、家族への支援など様々な視点から意見が出され、地域住民のニーズに答えきれていない「隙間」を埋めて確実に患者さんに寄り添うことができるのかについて活発な議論が行われました。

NEWS 令和5年度医学部優秀教員表彰



令和6年7月31日(水)に本学にて「令和5年度医学部優秀教員表彰式及び受賞者講演」を実施しました。

本表彰は、本学教員の意欲向上と大学教育の活性化を目的に毎年実施しているものです。

令和5年度は、講義部門において基礎病理学講座杉本幸太郎講師(対象講義:病理学総論II)が、実習部門において循環器内科学講座

金城貴士講師(対象実習:循環器内科BSL)が受賞しました。

竹之下誠一理事長兼学長から受賞者へ「今後も引き続き医学教育へ弛まぬ熱意を注ぎ、福島の地に根ざす大学としてそれらの成果をあまなく地域に還元し福島の未来の創造と発展、県民の健康を支えるべく活躍して欲しい」と期待を述べました。